2026年8月28日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(江別地区)
(2026年10月検針分)

旭川ガス株式会社
(小売登録番号:B0003)

当社では、本日確定した2026年5月から2026年7月の平均原料価格に基づき、2026年10月検針分のガス料金(単位料金)を、2026年9月検針分に比べ1㎥あたり10.47円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり11㎥ご使用)への影響は、2026年9月検針分と比較して、115円の引き上げとなります。

なお、政府によるガス料金負担軽減支援により、2026年8月検針分～2026年10月検針分のガス料金が値引きされます。2026年8月検針分・10月検針分は1㎥あたり14円の値引き、2026年9月検針分は1㎥あたり18円の値引きとなります。

○一般契約料金 (消費税込)

	使用量区分	基本料金(円/月)	単位料金(円／㎥)		影響額(円／㎥)
			10月	9月	
料金表A	0㎥から 23㎥まで	917.40	261.14	250.67	10.47
料金表B	23㎥を超え134㎥まで	1,309.00	244.51	234.04	10.47
料金表C	134㎥を超える場合	3,223.00	230.23	219.76	10.47

(注)各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響 (消費税込)

1ヶ月のご使用量	10月のガス料金	9月のガス料金	影響額
11㎥	3,789 円	3,674 円	+115 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成26年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法

ガス料金 = **基本料金(税込)** + **単位料金(基準単位料金(税込) ＋ 原料費調整による調整額(税込))** × **使用量**

(円未満切り捨て)

＜参考資料＞
1.平均原料価格について

＜平均原料価格の算出式＞

平均原料価格 ＝ LNG平均価格 ×0.9503 ＋ プロパン平均価格 ×0.0546

100,400 (円／t) ×0.9503 ＋ 123,050 (円／t) ×0.0546

＝ 102,130 (円／t)(10円未満四捨五入)

■原料価格の動向 (円／t)

	2026年5月～2026年7月（10月検針分）	2026年4月～2026年6月（9月検針分）	基準平均原料価格
平均原料価格	102,130	95,140	58,680
LNG平均価格	100,400	93,150	
プロパン平均価格	123,050	121,240	

原料価格変動額 ＝ 平均原料価格 － 基準平均原料価格

＝ 102,130 (円／t) － 58,680 (円／t)

＝ 43,400 (円／t)(100円未満切捨て)

2.単位料金の調整について

＜単位料金の算出式＞

単位料金 ＝ 基準単位料金 ＋ 単位料金調整額

単位料金調整額 ＝ 0.084 (円／㎥) × 原料価格変動額 ／ 100 (円／t) × (1+消費税率)

＝ 0.084 (円／㎥) × 43,400 (円／t) ／ 100 (円／t) × 1.1

＝ 40.10 (円／㎥) 小数点第3位切捨て

（※）原料価格変動額100円/tにつき、1㎥あたり0.084円調整します

(円／㎥)

	基準単位料金	単位料金調整額	10月単位料金
料金表A	235.04	26.10	261.14
料金表B	218.41		244.51
料金表C	204.13		230.23

(消費税込)

※政府の支援で、14円／㎥が値引きされています

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（1㎥あたりの単価）を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格（58,680円／t）」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1㎥あたり0.084円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。